

平成19年度  
改正食品リサイクル法に係る施行状況調査報告書

平成20年3月

環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 リサイクル推進室

## 目 次

1.調査の概要	1
1-1.調査目的等	1
1-2.調査方法等	1
1)改正食品リサイクル法の効果等判定手法調査	1
2)食品廃棄物の熱回収施設に係る状況調査	2
3)食品廃棄物のメタン化施設に係る状況調査	2
2.改正食品リサイクル法の効果等判定手法調査	3
2-1.利用可能な既存の統計資料の調査	4
1)関連する定期的調査(既存統計資料調査)	4
2)既存統計資料調査の活用に係る検討	5
2-2.既存統計資料では把握できない情報の整理	23
1)食品リサイクル施設(一般廃棄物処理施設)	23
2)食品リサイクル施設(産業廃棄物処理施設)	25
3)食品リサイクル施設(食品リサイクル法に係る施設)	28
4)その他食品リサイクル施設	29
2-3.既存統計資料で把握できない情報を把握するためのアンケート調査方法等	30
1)食品リサイクル施設(一般廃棄物処理施設)	31
2)食品リサイクル施設(産業廃棄物処理施設)	32
3)食品リサイクル施設(食品リサイクル法に係る施設)	33
4)その他食品リサイクル施設	52
2-4.実施量把握のためのアンケート調査実施に向けた関係機関等の協力の可能性	56
1)一般廃棄物・産業廃棄物としての食品リサイクル施設設置者及び登録再生利用事業者向アンケート調査	56
2)その他食品リサイクル施設設置者向アンケート調査	58
2-5.農林水産省大臣官房統計部が実施する食品循環資源の再生利用等実態調査との関係性の整理	60
1)食品循環資源の再生利用等実態調査の調査方法	60
2)食品循環資源の再生利用等実態調査と食品リサイクル施設による処理実績の関係	61
3)改正食品リサイクル法における食品廃棄物等の範囲と再生利用義務付け範囲の差違	63

3. 食品廃棄物の熱回収施設に係る状況調査	65
3-1. 調査目的	65
3-2. 調査対象施設	65
1) 市町村の設置する一般廃棄物処理施設	66
2) 民間事業者の設置する一般廃棄物処理施設	66
3) 産業廃棄物処理施設	67
3-3. 調査結果	68
1) 回答数、余剰電力量及び外部熱供給の定量的把握可能施設数等	68
2) 熱回収が再生利用として認められる可能性がある施設	68
4. 食品廃棄物のメタン化施設状況調査	74
4-1. 調査目的	74
4-2. 調査対象施設	74
4-3. 調査結果	74
1) 処理する廃棄物の種類	74
2) 発酵方式	75
3) 発酵温度	76
4) 放流方式	76
5) 発生ガスに占めるオフガスの割合	77
6) 回収ガスエネルギーの利用形態	78
7) 発電方式	80
8) 発電端効率(ガスエンジン)	80
9) 蒸気温度	81
10) 温水温度	81
11) 発酵残さ処理方法	82
12) 受入廃棄物の発熱量及び含水率	83
13) 単位廃棄物量当りのバイオガス発生量及びメタン濃度	84
14) 助燃剤の使用(実績)	85
15) 利用形態別所内消費電力量	86
16) 利用形態別発酵槽加熱熱量	87
17) 放流方式別所内消費電力量	88
18) メタン化施設における熱回収状況	89

**【参考資料】**

参考資料 1 ; 余熱利用を行う廃棄物焼却施設の設置状況に係るアンケート調査票

参考資料 2 ; 廃棄物のメタン化施設の設置状況に係るアンケート調査票